決算特別委員会Q&A

9月13日・14日の2日間にわたり、決算特別委員会を開催し、平成21年度各会計決算を集中審議しました。

以下は主な質疑の内容です。

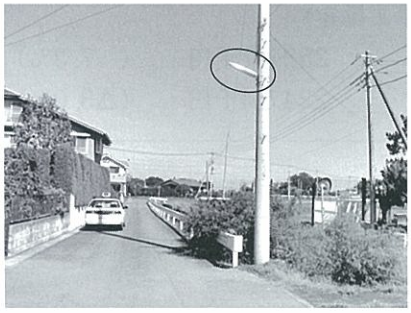
Q 代替バスの費用対効果を考えると、かなり負担が大きいと思うが、来年度に向けての考え方と来年度の予算は。

A 今後、検討委員会を立ち上げる方向で現在、準備段階です。来年度の予算大枠で1400万円を計上しています。

Q 「広報ごか」の未配布世帯はどのくらいか。また、その世帯への配布はどのように対応しているのか。

A 未配布世帯は約1,000世帯になります。対応としては、広報発行日と同日に町のホームページへの掲載や、各公共施設や主要施設に配布し、そこから取っていただくという対応をしています。

Q 防犯灯整備事業の修繕費80万円の内容は。また、各行政区から設置要望はどのくらい出ているのか。



A 修繕の内容は、14か所の球切れや安定器の交換等です。設置の要望は、平成19年度後半から平成22年度までで、12か所の設置要望が出されており、中身を精査しながら設置をしていきます。

Q 第3子以降の出生に対する就学祝い金の積立事業の推移と支給額は。

A この事業は平成11年4月1日から生まれた第3子以降の方に1人につき10万円を積み立てており、平成21年度対象者は7名で10万1千円を支給しました。

Q 町内2児童館で開催された乳幼児や未就学児を持つ親に対しての教室への参加人数はどのくらいか。

A 西児童館では、ちびっこ広場が計18回の開催で、延べ1044人が参加し、絵本の読み聞かせには計10回の開催で76名が参加されました。また、南児童館では「ママといっしょに」が計39回の開催で、延べ3800人が参加されました。

Q 国民健康保険税の値上げによる、収納率と滞納額の推移はどうか。

A 収納率は年々低下し、滞納額も増加しており、平成21年度の収入未済額は7005万1939円となっており、前年度を大きく上回った額になっています。

Q 環境審議会の構成の内訳と活動内容は。

A 構成メンバーは合計10名で、内訳は住民を代表する方が4名、産業界を代表する方、学識経験を有する方が各2名、町長が必要と認める方が2名となっています。

活動内容は主に、町の環境保全に関する基本方針の策定や、公害に関する調査・審議等です。

Q 不法投棄される具体的な場所は。

A 人目のつかない土手の隅や道路の際が比較的多く、このような場所を重点的にごみ捨て防止の看板を立てています。

Q 幹線町道やその他の町道整備については、老朽化や破損状況、地元要望・相談等を勘案しながら実施ということだが、具体的にはどのようなものか。

A 安全確保の観点から、道路パトロールや地元要望等を踏まえ、老朽化、破損状況が著しく、緊急性の高い箇所を優先的に対応しています。昨年度の相談等の件数は、道路整備関係が33件、道路維持管理関係が67件、不法投棄関係が29件ありました。